

伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念事業実行委員会 設立趣旨

伊勢志摩国立公園は、昭和 21 年 11 月 20 日に、戦後初めて誕生した国立公園である。その区域は伊勢神宮と背後に広がる自然豊かな森林を中心とした内陸のエリアと、もう一つは、複雑な地形・地質及び小さな入り江と岬が無数に点在するリアス海岸に代表される海沿いのエリアが公園区域として指定されている。

その範囲は三重県中央部の 3 市 1 町(伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町)に及び、約 6 万㊦の広大な面積を占めている。その中でも民有地の割合が 96%と極めて高く、公園内で生活する人も多いことから、自然と人との暮らしが織りなす景観や紡いできた文化は伊勢志摩国立公園の大きな特徴であり、未来に向け守り残していかなければならない地域の大切な財産である。

伊勢志摩が国立公園に指定され、令和 8 年 11 月 20 日で 80 周年の節目を迎えるにあたり、伊勢志摩のかけがえのない財産を地域の人々が共に守り、より良い形で次代に引き継ぐため、80 周年記念事業を展開することは重要であり有意義である。

伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念事業の実施にあたり、着実に準備を進めるとともに、円滑な事業運営を図るため、関係機関及び関係団体の参画の下、伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念事業実行委員会を設立する。

令和 7 年 5 月 23 日